

評価基準（第3期指定管理者選定審査基準から適用）					
評価のポイント（第3期指定管理者選定審査基準から準用）		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に（達成、実施等）できている ○（達成、実施等）できている △（達成、実施等）できていないが必要最小限のサービスは提供できている ×（達成、実施等）できていないので改善措置を講ずる の意味。			
事業計画（指定管理者から当初に提出）	平成28年度実績（指定管理者から毎年度提出）	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成29年度予定	
1. 事業計画による施設の運営が市民の平等な利用を確保するものであること					
・市民の平等な利用を確保できる取り組みとなっているか		○	○		
①施設の利用にあたっては、河内長野市及びセンターが催す事業以外、予め申し込みを受け付けない。	予約の希望者には予約はできない旨を丁寧に説明をし、実施した。	概ね事業計画通り実施して、利用者の理解も得た。	当初の事業計画どおり実施されており、市民の平等な利用を確保できたと思われる。	昨年度通り実施する予定	
②大声を出す、音響機器を大音量で流すなど、他の利用者に迷惑になるような行為は禁止する。	楽器の練習での利用は断るなど、実施した。			昨年度通り実施する予定	
③届出を必要とする各スペースの利用時間は、概ね2時間程度とする。（他に利用者がいない場合は延長を認める）	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
④使用したセンターの器具もしくは備品は、使用後に戻すよう義務付ける。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑤施設の利用方法および注意事項を文章にして、館内の見えやすいところに掲示する。	「ハサミ等事務用品の持参をお願いする」「ラミネート、印刷機等の利用法」等の文章を壁に貼るなどして実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑥「センター職員」（以下スタッフという）は、全体の雰囲気配慮し、施設利用者相互の譲り合いができるように促す。	印刷で利用者が込み合う時などは、譲り合いを促すなどを実施した。			昨年度通り実施する予定	
・高齢者や障がい者に対する配慮がなされているか		◎	◎		
①白杖・車椅子等での安全な移動のため、出入り口や通路に障害物を置かない。	通路等は車椅子が通ることが出来るスペースを意識した。	概ね実施している。特に聴覚障がい者の定期的利用が見られるので、手話や要約筆記の研修に力を入れた。	当初の事業計画どおり実施できていた。手話や要約筆記の研修については、誰もが利用しやすい環境づくりや、スタッフのスキルアップに繋がるので、今後も続けてほしい。また団体が参加するイベント等で、手話を交えて話をされたことで、各団体の障がいへの理解をさらに深めるきっかけになったと思われる。	昨年度通り実施する予定	
②館内の施設・備品の転倒を防止するなど、事故防止に努める。	高い棚には天井に突っ張り棒を張るなど転倒防止に心がけた。			昨年度通り実施する予定	
③入り口に、手すり・点字ブロックなどの設備を置き、案内板を表示する。	手すり、点字ブロックは設置している。案内板は屋外掲示板に設置している。			昨年度通り実施する予定	
④案内窓口には拡大レンズ等を置き、筆談による案内も出来る事を明示する。	老眼鏡や拡大レンズは常備し、筆談出来る旨明示している。			昨年度通り実施する予定	
⑤利用者で介助が必要と思われる場合、スタッフによる介助が必要かどうかを尋ね、必要かつ可能な介助を行う。また、必要に応じて周りの利用者にも協力を求める。	必要に応じて対応した。			必要に応じて予定通り実施する。	
⑥館内案内パンフレットを設置するとともに、音声（CD）による案内も可能な事を明示する。	利用者はまだないが、常備し案内を掲示している。			昨年度通り実施する予定	
⑦スタッフは利用者に対して、丁寧に接客し高齢者や障がい者、幼児の転倒等の事故防止に心がける。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑧スタッフは、手話や視覚障がい者への手引など、障がい者がセンターを利用するのに必要な介護研修をうけるなど、接客能力の向上に努める。	入門程度であるが、研修を行い、技能向上に勤めている。			スタッフのスキルアップを目指す。	
⑨各トイレ入り口に、点字案内を表示する。	全てではないが、多目的トイレには展示案内をしている。			昨年度通り実施する予定	
2. 事業計画の内容が、施設の目的を効果的に達成できるものであること					
・施設の設置目的に整合した効果的な運営になっているか		◎	○		
①施設の駐車場は、原則として施設利用者のみとし、隣家と接する場所は前向き駐車とする。混雑時は指定枠以外の駐車も認めるが、事務所に届け出るものとする。	前向き駐車は定着してきており、混雑時の枠外の駐車も届出をしてもらった。	シニア世代を中心としたボランティア活動での利用は進んでいる。また、まちづくり協議会など地域組織の利用も増えた。NPO法人や企業の社会貢献活動での利用は、まだ限られているが徐々に進んでいる。	当初の事業計画の通り実施できていた。現在、様々な情報紙等にて、るーぶらざの周知を図っているが、更に利用を拡大するため、より積極的に周知を行っていただきたい。	昨年度通り実施する予定	
②外の掲示板ではセンターのみならず、各種団体の直近のイベントの案内を貼り出す。	市民まつり等のイベント情報を掲示した。			昨年度通り実施する予定	
③施設周囲の空き地は、花壇をつくるなど、近隣に親しまれ立ち寄りやすい雰囲気を作る。	掲載ボランティア団体の協力も得て、花壇に季節の花を植えた。施設利用者にも喜んでもらった。			昨年度通り実施する予定	
④トイレはオープンな利用を認め、清潔保持を促す。	トイレのみの利用者もあるが、貼り紙で清潔保持を促した。			昨年度通り実施する予定	
⑤入口スペースでは、館内案内板を設置すると共に、ボランティア案内等を行う。また、AEDも設置する。	今年から、玄関スペースにミニミニギャラリーをつくった。AEDは設置済み。			昨年度通り実施する予定	
⑥自動扉は必要に応じてオープンにし、節電に配慮する。	気候等の条件が許す限りオープンにし、節電を心がけた。			昨年度通り実施する予定	
⑦事務スペースは、利用者に向かって座席を配置し、いつでも相談・案内が出来るように配置する。また、ボランティア相談窓口を設ける。	概ね実施した。			相談コーナースペースを設け、相談しやすい環境を作りをする。	
⑧交流スペースでは、配架されている各種パンフレット、図書等が自由に閲覧できるようにし、少人数の打合せ等での利用も促す。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑨情報スペースではガイドブック掲載団体の個別ファイルを作成し、チラシ等を保存する。また、ボランティアマッチングボードを設置し、ボランティアの提供側と受け手を繋ぐきっかけとする。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑩利用者用のパソコンも設置し、活動の啓発促進のためにインターネット、テレビ、ビデオの自由な閲覧を促す。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑪ワークスペースでは、輪転機、コピー機、折り機、ラミネーターを安価で利用できるようにし、紙揃え機、裁断機、パンチング等を無料で使えるようにする。	紙折り機、ラミネーターの有料化はせず、故障もあり保守費用等に問題はありますが、利用者サービスにはつながっている。			昨年度通り実施する予定	
⑫簡易な子供用玩具、絵本を置き、子連れでも施設利用しやすい様にする。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑬ミーティングスペースでは、平時はミーティング等に貸し出し、必要に応じて各種講座を実施する。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑭2階は貸出ブース用とし、各団体の事務所として活用を促す。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑮ボランティア団体及び市民の防災に関する啓蒙・啓発を促すために、防災情報・防災グッズを展示する。	ミーティングスペースの奥に展示した。			昨年度通り実施する予定	
⑯企業の社会貢献活動を紹介する。	各種イベントや宣伝物で紹介した。			昨年度通り実施する予定	

評価基準（第3期指定管理者選定審査基準から適用）				
評価のポイント（第3期指定管理者選定審査基準から準用）				
事業計画（指定管理者から当初に提出）	平成28年度実績（指定管理者から毎年度提出）	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成29年度予定
<p>文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に（達成、実施等）できている ○（達成、実施等）できている △（達成、実施等）できていないが必要最小限のサービスは提供できている ×（達成、実施等）できていないので改善措置を講ずる の意味。</p>				
<p>・利用者の要望を反映できる取り組みとなっているか</p>				
①案内窓口にはアンケート用紙（工夫、改善してほしいこと等が書き込めるもの）を用意し、定期的に実施する。センター管理上で改善すべきところは市との協議のもと改善し、その事を必要に応じ掲示板にて公表する。	アンケートでの要望を待つのみではなく、積極的に課題を見つけ出し、毎月何らかの改善を行った。	交流スペース奥のロッカーの位置を変更するなどし、それぞれが利用しやすいように工夫した。	利用者から要望や意見があれば、運営委員会等で話し合い、必要に応じて業務に反映できていた。	昨年度通り実施する予定
②利用者相互に関わることにについては、個人攻撃にならない事を配慮して公表し、利用者自身の積極的な関わりを求める。	フェスティバルでのスペースをめぐる意見の対立など、多少の意見の違いもあるが、自分だけではなくみんなで創り上げることを奨励した。			昨年度通り実施する予定
<p>・利用者の苦情に対応できる取り組みとなっているか</p>				
①苦情は真摯に聞く様にし、スタッフによる自己点検、相互点検のミーティングを重ねる。月1回は市担当課も交えた運営委員会を開催する。	イベント情報で不必要な情報が機械的に送られてくるといった意見を前向きにとらえ、紙面の全面改訂、発行時期の変更等柔軟な対応を心がけた。	意見をいただいた時は、センター長のみならず市とも連携し対応した。	市とは情報交換ができており、苦情に関する市からの指示等についても適宜対応できていた。	昨年度通り実施する予定
②懇談会等にて第三者の意見を聞き、市担当課との協議の上で、問題点を探り、速やかに改善を図る。またその事を必要に応じて公表する。	協働懇談会のみならず、市議会やまちづくり協議会などでの意見を前向きにとらえるように心がけた。			昨年度通り実施する予定
<p>・施設の利用を促進できるような取り組みとなっているか</p>				
①季刊ごとに年4回「るーぶらざ」の情報紙として「るーぶらざだより」及び年2回防災情報紙を発行する。内容の充実を図るとともに、配布対象を広げ、各種団体、企業、個人にも配布できるよう発行する。	概ね実施した。	様々な施設等に「るーぶらざだより」等を配架し、施設の利用促進を図った。	各団体や、行政機関、企業等に情報紙を配架し、施設の利用促進を図られた。	昨年度通り実施する予定
②毎月イベント情報としてガイドブック掲載団体の活動案内を掲載し、各団体に発送する。	機械的な情報の一方的発信ではなく、必要に応じた提供に切り替えた。			昨年度通り実施する予定
③ホームページ・フェイスブックでも様々な活動を紹介するとともに、河内長野市や他市の支援センターともリンクできるようにする。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定
<p>・サービス向上のための取り組みとなっているか</p>				
①様々な活動を支援するという趣旨から、それぞれの団体・個人の主義主張や意見の相違を前提とし、多様な意見や立場を尊重する。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定
②具体的な相談において、一つの方法を押し付けるのではなく、様々な選択肢を提供することが求められるため、様々な情報を収集し、必要に応じて提供できるように整理する。	概ね実施した。	特に、マッチング相談などの相談業において、個人での抱え込みを避け、スタッフ間での情報伝達を心がけ、組織としての活動を目指した。	当初の事業計画どおり実施できていた。	昨年度通り実施する予定
③センターの利用者・相談者に対して、単なる仕事の代行や請負をした場合は、個人や団体の活動を終息することにもなりかねないことから、ボランティアフェスティバルや各種行事等に際しては各団体の創意を図るように働きかける。	ボランティアフェスティバルなどでは各々の団体の意見を尊重し、実施した。			昨年度通り実施する予定
④スタッフは、各種研修および取材や様々な相談活動を通じて常に新鮮な情報を収集し、利用者に提供できる様努める。	情報取得は河内長野市内にとどまらず、府内全域に足を運んでの情報を取得する事を心がけた。			昨年度通り実施する予定
<p>・情報の収集及び提供事業を効果的に達成できる計画となっているか</p>				
①ボランティア・市民公益活動団体紹介冊子「ガイドブック」への掲載の募集、冊子の発行	概ね実施した。			NPOの情報を掲載する。
②季刊「るーぶらざだより」、月刊「イベント情報」の取材、原稿募集及び発行	イベント情報紙は必要に応じて発行することとした。その他は概ね予定どおり実施した。			昨年度通り実施する予定
③市内各種団体・企業へのボランティアマッチングアンケートの実施	アンケートは実施しなかったが、企業の社会貢献を促進する講演会「つながりつむいで」を実施し、各種団体、企業とのつながりのキッカケができた。		ボランティア・市民公益活動団体紹介冊子「ガイドブック」や、各種情報紙、また防災情報紙を発行し、団体や行政機関、企業等に配布することで、広く情報の提供に努めていた。また、今年度は、企業等から構成されるボランティアネットワーク組織である中央区フィランソロピー懇談会の会議やイベントに参加をし、企業ボランティアに関する様々な情報を収集し、講座等を通じてその情報を提供することで、企業のボランティア活動の促進に努めていた。	市と協定を結んでいる企業等を中心としたネットワークづくりに協力する。
④ボランティア・市民活動団体交流会（るーぶらざまつり）、ボランティア・市民活動フェスティバルへの参加募集と情報交換	るーぶらざまつりでは近隣のピラをまき、参加を得た。ボラフェスでは高校や大学からも参加があり情報交換ができた。			昨年度通り実施する予定
⑤河内長野市の自治会交流会への参加やまちづくり協議会への会議・情報展示場の提供等	今年度は自治会交流会は実施されなかったが、まちづくり協議会は積極的に施設利用等されている。	日本フィランソロピー協会主催のCSR推進事例セミナーに参加するなどし、これまでになくコミュニティビジネスや企業の社会貢献活動との出会いと情報収集ができた。		まちづくり協議会へボラフェスへの参加を呼びかけ、情報展示の場を提供したい。
⑥月に1回ラウンドテーブルを開催し、情報交換の場として定着を図る。	月に一回のラウンドテーブルは中止しているが、河内長野市をはじめ河内長野文化財団（くろまる塾）や河内長野社会福祉協議会との定期的に会議を行い情報交換した。			昨年度通り実施する予定
⑦河内長野市社会福祉協議会、大阪ボランティア協会や関西ネットワークの情報を受ける。	大阪ボランティア協会のみならず、大阪NPOセンターやおおさか防災ネットワークなどからも情報収集した。			大阪コミュニティ協会とも協力する。
⑧年に一度以上他市の支援センターの訪問・見学を行う。	今年度は大阪市内のボランティアセンターに訪問した。その他、中央区フィランソロピー懇談会にも参加した。			被災地や防災センター等も含め検討する。
⑨企業人権協議会、フィランソロピー協会等の情報も把握し、先進事例を発掘・調査	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定
⑩防災情報紙の発行、産官民防災ネットワークへの参加・協力	防災情報紙を1回発行した。また、防災ネットワーク関係団体を防災まちづくり講座を開催した。			昨年度通り実施する予定
⑪市民まつり、南河内のつどい等、地域のイベントにも積極的に参加、参画	今年の南河内のつどいは「続けよう」をテーマに、事業の継続を念頭に、コミュニティビジネス等に言及したシンポジウムを開催した。			昨年度通り実施する予定
<p>・人材育成事業を効果的に達成できる計画となっているか</p>				
①ボランティア入門講座、ボランティア活動体験プログラムの開催で幅広く人材を発掘する。	初めて河内長野市文化振興財団と社会福祉協議会との共同開催事業を実施した。		今年度は初めてボランティア入門講座を社会福祉協議会、くろまる塾と共に開催し、内容の充実が図られた。またボランティア体験プログラムについても社会福祉協議会と合同で実施し、効果的な周知や募集が図られた。	昨年度通り実施する予定
②河内長野市の近隣大学からのインターンシップに協力し、ボランティア・市民活動の体験・見学に協力する。	今年度は6名の大学生を受け入れた。	広がりはまだまだだが、他の団体と協働で講座等を開催し、今後の広がりの基礎ができた。		29年度は大阪大谷大学より4～5名受入れ予定
③補助金等の市の制度を公益活動団体が活用できるよう講座を開催する。	補助金活用講座とプレゼン講座を実施した。			昨年度通り実施する予定
④既にサポーターやコーディネーターの役割を担っている、もしくはこれから担おうとしている方に対してより幅広く、質の高い内容を学習する場としてステップアップ講座を開催する。	ステップアップ講座として会計講座を実施した。			昨年度通り実施する予定

評価基準（第3期指定管理者選定審査基準から適用）				
評価のポイント（第3期指定管理者選定審査基準から準用）				
事業計画（指定管理者から当初に提出）	平成28年度実績（指定管理者から毎年度提出）	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成29年度予定
<p>文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に（達成、実施等）できている ○（達成、実施等）できている △（達成、実施等）できていないが必要最小限のサービスは提供できている ×（達成、実施等）できていないので改善措置を講ずる の意味。</p>				
<p>・相談、助言、コーディネート事業を効果的に達成できる計画となっているか</p>				
①相談内容をA.ボランティアの開始、団体の立ち上げ等の相談と、市民公益活動に関する全般的な相談、B.ボランティアの需要と供給によるマッチングに関する内容に分ける。	概ね実施した。	<p>スタッフそれぞれが研修等に参加し、スタッフ会議で得た情報を共有しスキルアップにつなげた。</p>	<p>研修等にてスタッフの相談に関するスキルアップを図っていたが、昨今、相談内容が多様化・複雑化していることもあり、それらに対応するため、更なるスキルアップを図っていただきたい。</p>	昨年度通り実施する予定
②Aの一般相談については第一段階として受付窓口で相談対応を行う。より専門的な対応が必要と判断される場合は、第二段階としてより専門的知識を有するものに引き継ぐべく日程調整を行う。それでも内容が高度な場合は他者、機関等の紹介を行う。	NPO申請、補助金申請、子ども食堂などの事業では、必要に応じて河内長野市役所関係課や社会福祉協議会等を紹介した。			昨年度通り実施する予定
③上記の専門的知識を習得するため、相談員が各々専門分野を持ち、研究を深める。	研修等を通じて知識の習得を図った。			昨年度通り実施する予定
④Bのマッチング相談は、事前にアンケート調査等で出来る限りの情報把握に努め、様々な条件を事前に調べる（目的、規模、日程、経費等）。需要側、供給側で話が合えばセンターが間に入って面談を行う。実現した後に報告書の作成を依頼する。	ガイドブックによる紹介のみならず、団体紹介かるといいう形でカードを渡すなど工夫した。			昨年度通り実施する予定
⑤ボランティア活動を支援する人たちのスキルアップ研修を実施する。	手話や要約筆記、コーディネート研修など積極的に参加した。			昨年度通り実施する予定
<p>・連携及び交流促進事業を効果的に達成できる計画となっているか</p>				
①同じテーマの団体でも、意見の違い等により繋がりが無い場合もある。違いを前提に繋がれるところで繋がる気風を育む。	団体交流会やボラフェスでは、参加団体間の交流も促すための取組みを実施した。	<p>る一ぶらざまつりでは、従来のボランティア団体に加えて自治会にも参加を呼び掛けた。また、CSR促進に向け開催した講座では商工会さんの後援をもらい企業との連携ができた。</p>	<p>ボランティアフェスティバルでは会場を増やし、内容も充実させることで、参加団体数が増加し、交流の促進が図られた。今年度は各種イベントに学生ボランティアに協力を呼びかけ、参加していたが、今後については各団体と学生の連携・交流等についても促進していただきたい。</p>	昨年度通り実施する予定
②様々な活動の前提である安全安心・防災活動をつなぐ一つの軸にする。	防災通信の作成発行と、産官民による防災勉強会では講師を務めた。また、おおさか災害支援ネットワークにも積極的に参加した。			昨年度通り実施する予定
③交流促進事業としては、市民まつり、団体交流会、フェスティバル等、様々なイベントでの出会いをより継続的なものにするための機会を作る。	イベント開催時には、様々な団体に声をかけ、グループワーク等で交流を深める機会を提供した。			昨年度通り実施する予定
④同好会・互助会などの共益団体、自治会等の地域型団体など、テーマ型といわれるボランティア・市民公益活動とは少し趣の異なる団体とも交流を広げるように努める。	団体交流会を通じて交流を図った。			昨年度通り実施する予定
⑤CSR等企業の社会的責任、社会貢献が問われていることから、地域やボランティア活動への連携・協力を掘り起こす。	CSR促進のための講演会を実施し、30人以上企業、個人の参加を得ることができた。			防災ネットワーク等も含めたCSRの促進を進める。
<p>3. 事業計画の内容が、施設の管理に係る経費の縮減が図られるものであること</p>				
<p>・維持管理費の縮減を図る取り組みとなっているか</p>				
①印刷機やコピー機等を使用する場合、必要最小限の枚数にしてインクや紙の無駄をなくす。	概ね実施した。	<p>慣れていない利用者には出来るだけ立ち会う等、印刷機、ラミネート等の故障を減らす努力をした。</p>	<p>当初の事業計画どおり実施できていた。</p>	昨年度通り実施する予定
②不要になった用紙をメモ用紙として使う。	内部資料、メモ用紙に古紙を利用する等、概ね実施した。			昨年度通り実施する予定
③書面による連絡は、FAXやインターネットを活用し、郵便料金の節約を図る。	ネット、メールの活用で、郵便物等を軽減した。			昨年度通り実施する予定
④スタッフの私用電話の利用は禁止し、相談もできるだけ直接面談して電話料金の節約を図る。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定
⑤整理整頓・清潔に心がけ、清掃や修繕などにかかる消耗品の出費を抑える。	印刷機、ラミネートの利用では故障をなくすために注意書きを増やし、協力を得られるように努力した。			昨年度通り実施する予定
<p>・光熱水費の縮減を図る取り組みとなっているか</p>				
①使用していない場所の電気はこまめに消す。	概ね実施した。	<p>概ね実施した。</p>	<p>光熱水費の縮減に取り組む姿勢が見られ、当初の計画どおり実施できていた。</p>	昨年度通り実施する予定
②室内温度を冬19℃、夏28℃に設定するなどして節電を図る。	室内温度の調整は事務局員が行い、室温調整の節電を実施した。			昨年度通り実施する予定
③閉館後、メインスイッチをOFFにし待機電力を節減する。	徹底していなかったコピー機の電源もオフにするなどより徹底することができた。			昨年度通り実施する予定
④湯沸しはその都度沸かし、できるだけ電気ポットの利用を控える。	電気ポットは出来るだけ利用せず、その都度沸かすことが定着してきた。			昨年度通り実施する予定
⑥職員はもとより利用者にも節電、節水を呼びかける。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定
⑦給湯などガスの使用は、必要以上に行わない。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定
<p>・人件費の縮減を図る取り組みとなっているか</p>				
①仕事に応じた勤務体制で、残業や休日出勤を発生しない勤務シフトをつくる。	概ね実施した。	<p>ボランティアフェスティバルや市民まつり等では、ボランティアスタッフに協力を依頼した。</p>	<p>必要に応じてボランティアスタッフに参加を求めると、当初の計画どおり実施できていた。</p>	昨年度通り実施する予定
②スタッフやボランティアの健康と安全に配慮し、事故や怪我・疾病などによる不必要な出費を防ぐ。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定
③スタッフのお互いの報告・連絡・相談を欠かさず、職場でのミーティングや引継ぎを正確に行い、連絡の漏れによる業務の重複や、二度手間を防ぐ。	昼間3人の事務スタッフを中心としたシフト制で、情報の抱え込みを避け、連絡引継ぎの効率化を図った。			昨年度通り実施する予定
④月一回以上の運営委員会を行い、センターの効率的な運営を図る。	各部会会議の活性化を図った。			昨年度通り実施する予定
<p>4. 事業計画に沿った施設の管理を安定して行うための十分な能力を有するものであること</p>				
<p>・管理運営に必要な能力を備えた職員配置、確保がなされる計画となっているか</p>				
①センター長及びスタッフは、NPO法人はびえるが採用したものとす。	概ね実施した。	<p>報告・連絡・相談は実施され、ほぼスムーズな管理運営を実施した。</p>	<p>当初の事業計画どおり実施できていた。</p>	昨年度通り実施する予定
②スタッフは、開館時間に合わせ午前9時から午後5時30分までは2名以上、夜間（午後5時30分から午後9時まで）は1名以上の配置とする。	必要に応じて人員を配置し、業務のスムーズな遂行を実施した。			昨年度通り実施する予定
③スタッフは、センター長の管理のもと業務を遂行する。	重大案件等は必ずセンター長の指示を受ける等、実施できた。			昨年度通り実施する予定
④センター長および常勤スタッフは、毎月25日までに翌月のシフトを決定し、非常勤スタッフに知らせるものとす。	常勤のスタッフを中心として、スムーズな業務の遂行ができた。			昨年度通り実施する予定

評価基準（第3期指定管理者選定審査基準から適用）					
事業計画（指定管理者から当初に提出）		平成28年度実績（指定管理者から毎年度提出）	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成29年度予定
評価のポイント（第3期指定管理者選定審査基準から準用） <div style="float: right; font-size: small;"> 文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に（達成、実施等）できている ○（達成、実施等）できている △（達成、実施等）できていないが必要最小限のサービスは提供できている ×（達成、実施等）できていないので改善措置を講ずる の意味。 </div>					
・ 職員の業務能力の向上をめざした研修の計画となっているか			○	○	
①基礎研修として、接遇・応接・人権尊重・救急救命その他命と安全に関する研修を実施する。	毎年新メンバーによる人権研修参加も行き、消火研修など安全研修も行った。		河内長野市の職員研修をはじめとした研修にも参加し、スタッフの能力向上を図った。	当初の事業計画どおり実施できていた。今後もスタッフのスキルアップを図るため、研修等を実施していただきたい。	昨年度通り実施する予定
②実務研修として、器機の取り扱い・会計処理（法人会計）・労務、社会保険に関する研修を行う。	必要に応じて、外部研修も含めて実施した。				昨年度通り実施する予定
③管理者研修として、他市町村の協働に関するセンターとの交流や研修・施設管理者としての研修を行う。	センター間の研修やコーディネート研修などにも参加した。				昨年度通り実施する予定
④協働の視点から、市の出前講座を積極的に招き、スタッフ研修とする。	認知症サポーター養成講座を実施した。				昨年度通り実施する予定
・ 人権啓発及び個人情報保護等研修計画について、適切な取り組みとなっているか			○	○	
河内長野市企業人権協議会に参加し、人権研修に参加する。また河内長野市の個人情報保護研修や人権啓発イベントに参加し、その上で利用者の基本的人権を尊重し、法令を遵守した管理に努める。	LGBT研修などに参加し、スタッフ研修などを実施した。	概ね実施した。	当初の事業計画どおり実施できていた。	LGBTの市民向けセミナー等独自の取り組みを進める。	
・ 公正採用選考人権啓発推進員選任の取り組みについて、適切な取り組みとなっているか			○	○	
該当する事業所ではないが、職員の採用に当たっては、理事長やセンター長など主な施設管理者が人権啓発研修を受講するなどして、面接その他選考過程で人権侵害にならないよう配慮する。	スタッフが研修に参加した。	概ね実施した。	当初の事業計画どおり実施できていた。		昨年度通り実施する予定
・ 障がい者雇用の取り組みについて、適切な取り組みとなっているか			○	○	
該当する事業所ではないが、職員の採用に当たっては、障がい者の能力を活かせる職種・職域を開発し、必要に応じて適正な人材の確保・採用に努力する。	障がい者雇用にまでは至っていないが、車椅子、アイマスクによる歩行研修、手話研修、要約筆記研修を行うなど、受け入れ態勢の研修を実施した。	概ね実施した。	障がい者の雇用には至っていないが、適切な人材の確保・採用に努めていた。		昨年度通り実施する予定
・ 個人情報保護について適当な考え方をもち、適切な取り組みとなっているか			○	○	
①退職後も、知り得た秘密は漏らさない。	実施した。	常にパソコン上での情報は整理し、不用意な漏えい等が無いように心がけた。	当初の事業計画どおり実施できていた。		昨年度通り実施する予定
②総合的なセキュリティ対策を講じる。	実施した。			昨年度通り実施する予定	
③私用のパソコン利用、インターネットアクセスはしない。	実施した。			昨年度通り実施する予定	
④第三者に使用されないよう適切な措置・管理を行う。	実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑤USBメモリーなどの記録媒体使用には注意する。	実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑥ファイル交換ソフトがインストールされたパソコンで、業務は行わない。	そういったパソコンは利用していない。			昨年度通り実施する予定	
⑦個人情報の取り扱いは、特に注意する。	実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑧ICカードや磁気カード等は、保管場所に注意し、適切な管理を行う。	実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑨パスワードを利用する場合、漏洩や盗み見などに注意し、適切な管理を行う。	実施した。			昨年度通り実施する予定	
・ 情報公開について適当な考え方をもち、適切な取り組みとなっているか			○	○	
①業務文書の公開請求に応じることができるよう、できるだけ行った業務を文章にして残すよう努める。	各会議の議事録は残している。	概ね実施した。	当初の事業計画どおり実施できていた。		昨年度通り実施する予定
②会議録はそれを保管する。	紙媒体とデータで保存した。			昨年度通り実施する予定	
③ミーティングや引継ぎの内容は、文章にして残す。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
④そのために、業務上必要な書式を整える。	混乱を避けるため、日付、筆記者等を明確にした。			昨年度通り実施する予定	
⑤書類は、時期や項目等で必要な分類を行い、色違いのファイル等で整理するなどして混乱を防ぐ。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
・ 環境への十分な配慮がなされた取り組みとなっているか			○	○	
①経費の削減のみならず、環境への影響を鑑みて、できるだけ節電・節水、省エネに努力する。	概ね実施した。	NPO法人フルル花と福祉の地域応援ネットワークさんに花壇の除草や植え替えをしていただいた。またNPO法人森林ボランティアさんに安価に庭木の剪定をしてもらった。	スタッフのみならず、各種ボランティア団体にも協力していただき、環境の保全に努めていた。		昨年度通り実施する予定
②印刷する紙は必要最低限に抑える。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
③車のアイドリングを禁止し、騒音防止および空気正常化に努める。	車のアイドリングはほぼなくなった。			昨年度通り実施する予定	
④ゴミの分別収集に協力し、減量化を図る。	ゴミの持ち帰りを推奨し、減量化を実現した。			昨年度通り実施する予定	
⑤館内の清潔保持に心がけ、利用者にも環境美化を呼びかける。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑥全館禁煙とする。	実施した。喫煙者は門から出て、自前の灰皿で吸っている。			昨年度通り実施する予定	
⑦館の内外にかかわらず、近隣に迷惑になるような行為は禁止する。	概ね実施した。			昨年度通り実施する予定	
⑧ボランティア団体の協力も得て、敷地内空き地に花壇や庭木を栽培する。	玄関先、中庭には花を植え、裏庭では綿や果実栽培も実施した。			昨年度通り実施する予定	

評価基準（第3期指定管理者選定審査基準から適用）					
事業計画（指定管理者から当初に提出）		平成28年度実績（指定管理者から毎年度提出）	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成29年度予定
<p>評価のポイント（第3期指定管理者選定審査基準から準用）</p> <p>文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に（達成、実施等）できている。○（達成、実施等）できている。△（達成、実施等）できていないが必要最小限のサービスは提供できている。×（達成、実施等）できていないので改善措置を講ずるの意。</p>					
・利用者の安全を確保できる取り組みとなっているか			○	○	
①段差や階段など、移動する際に注意が必要な箇所にはその事をわかりやすく明示する。	2階階段入口には床と色違いのスロープを設置している。		概ね実施した。	当初の事業計画どおり実施できていた。	昨年度通り実施する予定
②通路、出入口には物を置かない。ミーティングスペースには手荷物台・衣類掛けを設置する。	ミーティングスペースの周りにはカバンなどを置くテーブルを配置し、入口には洋服ハンガーラックを設置している。				昨年度通り実施する予定
③書棚等は転倒防止策をとり、書類等も整理して保管する。	書棚には転倒防止の突っ張りを行い、ガラス窓には飛び散り防止シートを張った。				昨年度通り実施する予定
④擦り傷や虫刺されなど、臨時的措置ができる救急箱等を設置する。	常備している。				昨年度通り実施する予定
⑤貼り紙等で駐車場で安全確認を促し、交通事故を防止する。	後方で見にくい手すりには、赤いテープを巻くなど追突防止策を行った。				昨年度通り実施する予定
⑥地震や火災などの災害に備えて非常出口・通路を館内に図面にして張り出し、適宜利用者と合同の避難訓練等を行い災害に備える。	概ね実施した。				昨年度通り実施する予定
⑦AEDを配置し、スタッフは年一回以上の救急救命訓練を受ける。	概ね実施した。				昨年度通り実施する予定
⑧館内に防災コーナーをつくり、防災用品を備え展示を行う。	薪かまど（時計型）、大なべ、防災食などの展示を実施した。				昨年度通り実施する予定
⑨河内長野市、河内長野ガスや河内長野市社会福祉協議会等と連携し、防災情報紙の発行も行う。	防災まちづくり講座では、クロスロードゲームの進行役として参加した。				昨年度通り実施する予定
・緊急時において、適切に対応できる取り組みとなっているか			○	○	
①スタッフは、緊急時には必要な救助を行う。	緊急時は無かったが、訓練は実施した。		概ね実施した。	緊急事態には遭遇していないが、いつでも適切に対応できるよう、訓練等を実施していた。	必要に応じて予定通り実施する。
②緊急時には、即対応できるよう近隣の医療機関や消防署などの情報を把握し、適切な指示を受け協力を仰ぐ。	電話案内板を館内掲示している。				昨年度通り実施する予定
③常に避難経路を明示し、必要に応じて避難訓練を行う。	非常口には案内灯を設置し、避難訓練等実施した。				昨年度通り実施する予定
④事故が起こった場合は必要な緊急措置を行うと共に、速やかに関係機関に連絡し指示を仰ぐ。	事故は起こっていないが、避難訓練は実施した。				必要に応じて予定通り実施する。
⑤事故が起こった場合は、必要・適切な処理を行うと共に、事故の処理と再発防止のため、事後は冷静に事態を振り返り、報告文書を作成し関係機関に届け出ると共に反省会を行う。	事故は起こっていない。				必要に応じて予定通り実施する。
・災害時、地域住民全体の安全を確保できる取り組みとなっているか			○	○	
①災害前の防災活動として、防災情報紙を発行すると共に市や自主防災組織、河内長野ガスや社会福祉協議会とともに進めてきた産官民の防災ネットワークの活動に協力する。	河内長野市、河内長野ガス、河内長野市社会福祉協議会などのネットワーク形成のための防災まちづくり講座を実施した。		概ね実施した。	緊急事態には遭遇していないが、いつでも適切に対応できるよう、訓練等を実施していた。	昨年度通り実施する予定
②災害直後は、各自・家族、館内利用者、近隣の安全確保に全力をさく。	災害に備えて避難訓練を実施した。				昨年度通り実施する予定
③市内外の団体・機関との連絡調整をする。	おおさか災害支援ネットワークに参加した。				昨年度通り実施する予定

コメ	ホームページを改良すると共に、イベント情報紙の紙面の改善を行い、必要に応じてタイムリーに発行するなど、宣伝活動の効率化を図った。また、企業のCSR(社会貢献)等へのきっかけづくりに力を入れ取り組んだ。具体的には大阪市内のCFK(中央区フィランソロビー懇談会)と連携し、講演会を実施した。市商工会等にも参加を呼び掛けたことで、企業等との連携も進んだと思われる。
受託者	ボランティア・市民活動フェスティバルでは、高等学校や短期大学と連携し、活動の展示を行った。フェスティバル当日には大阪芸術大学の学生がボランティアスタッフとして参加してくれるなど、新たな繋がりができた。ボランティア入門講座、体験プログラムではくろまる塾、社会福祉協議会と協働にて実施し、協働の新しい仕組み作りを進めた。今後は河内長野市内での協働のみならず、近隣大学、学生や企業、NPO法人との連携を図りたい。
コメ	今年度は新しい取り組みとして、企業のボランティア活動を促進するための講座を開催し、市商工会やロータリークラブ等に参加を呼び掛けるなど、積極的な姿勢が見受けられた。
行政	ボランティア・市民活動フェスティバルでは、市内の高等学校、短期大学や市役所各課に参加を呼び掛け、学生のボランティア活動や市民と行政との協働事業を展示するなど、広く情報提供ができたと思われる。また、河内長野ガスを開催会場として加えたことで、来場者数も約6000人に増加し、ボランティア活動の促進に繋がったと思われる。
コメ	ボランティア活動入門講座においては、くろまる塾や社会福祉協議会と調整・連携を密に行い、講習会のみならず、体験参加型相談会を協働で実施するなど、新たな取り組みについて評価する。
行政	今後、市と市民公益活動支援センターとの調整会議の回数を増やすなど、更なる連携を図り、施設の適正な管理と効果的な運営、事業の実施に努めていただきたい。特に団体支援においては、テーマ型組織だけではなく、地域型組織への支援も充実を図るとともに、昨今団体を取り巻く状況の変化にも適切に対応できるよう研修等を通じて相談対応等の更なるスキルアップを図っていただきたい。